

# 目次

本装置へのログイン方法(MA-S1xx/MA-X3xx 共通) .....	1
<b>CONSOLE ポートを使用したログイン</b> .....	1
本装置とPCの接続 .....	1
本装置へのログイン .....	1
文字化け等で通信が出来なくなった場合 .....	2
<b>SSH によるログイン</b> .....	2
本装置への接続 .....	2
本装置へのログイン .....	3



# 本装置へのログイン方法(MA-S1xx/MA-X3xx 共通)

本装置へログインは、CONSOLE ポートを使用してのログインと、SSHによるログインの2種類があります。

## CONSOLE ポートを使用したログイン

CONSOLE ポートを使用して本装置へログインします。

### 本装置とPCの接続

#### ●MA-X3xx



#### ●MA-S1xx



1. 本装置前面の CONSOLE ポート<sup>1)</sup>にUSBケーブルを接続させます。
2. USBケーブルのもう片方をパソコンに接続させます。
3. 本装置に電源を投入します。

### 本装置へのログイン

1. 本装置を接続した PC で、接続用のターミナルソフト<sup>2)</sup>を起動します。
2. RS-232 の通信設定を以下のように設定します。

項目	内容
ボー・レート	115200bp
データ	8bit
パリティ	なし
ストップ	1bit

項目	内容
フロー制御	なし

3. Kernel 起動処理終了後、ログイン画面が表示されます。

```
[ OK ] Started LSB: Start pdnsd.
[ OK ] Reached target Multi-User System.
[ OK ] Reached target Graphical Interface.
        Starting Record Runlevel Change in UTMP...
```

Ubuntu 22.04.2 LTS metis ttyS3

metis login:

4. アカウント、パスワードを入力しログインします。標準で下記のアカウントが登録されています。

アカウント	パスワード	権限
user1	user1	一般ユーザ
root	root	管理者

### 文字化け等で通信が出来なくなった場合

本装置のCONSOLE ポートから接続しているときに、まれに文字化け等で通信が出来なくなるケースがあります。その場合は、CONSOLE ポートと PC のUSBポートからUSBケーブルを抜き差しして、復旧するか確認してください。

## SSH によるログイン

SSH を使用して本装置へログインします。

### 本装置への接続

#### ●MA-X3xx



#### ●MA-S1xx



1. 本装置の ETHER0 と LAN ケーブル LAN ケーブルと PC を接続します。
2. 本装置と DC コネクタ AC アダプタとコンセントを接続し、本装置に電源を投入します。

## 本装置へのログイン

1. LED で Linux Kernel が動作中であることを確認します。<sup>3)</sup>
2. SSH クライアントソフトウェア<sup>4)</sup>を使用して、本装置の IP アドレス<sup>5)</sup>へ接続します。
3. アカウント、パスワードを入力しログインします。  
標準で下記のアカウントが登録されています。<sup>6)</sup>

アカウント	パスワード	権限
user1	user1	一般ユーザ
root	root	管理者

1)

USB 2.0 Micro B

2) 4)

、  
windowsの場合はTeraTermやputty 等

3)

[LEDの割り当てと表示パターン、使用例](#)を参照

5)

ETHER0 工場出荷時 IP アドレス : 192.168.253.253

6)

デフォルトでは管理者権限でのSSHログインは許可されていません

From:

<https://wiki.centurysys.jp/> - **MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' WiKi**

Permanent link:

[https://wiki.centurysys.jp/doku.php?id=console\\_ssh\\_login:start](https://wiki.centurysys.jp/doku.php?id=console_ssh_login:start)

Last update: **2023/12/13 13:43**